

(平成20年度実施事業)

# 事業評価表

事業CD. 0103101 - 03000

京都府南丹市  
作成日: 平成21年05月12日

事業名	人権啓発事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ( )	市民部 市民課 担当: 桂木
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 411	関連法令・条例等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、南丹市人権教育・啓発推進計画

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
市民一人ひとりの人権を尊重し、差別を許さないまちづくりを推進するため、講演会や地域別研修、街頭啓発や関係団体と連携し、決め細やかな啓発活動を推進する。
- ②事業を実施する必要性  
本市においてあらゆる人々が、様々な機会に人権教育・啓発に参加することにより、人権尊重を日常生活の人間関係の中で習慣として身に付け、実践できるという意識が社会全体及び日常生活の隅々にまで浸透した人権感覚の豊かな社会を構築することを目標に掲げており目標達成のためにはこの事業は必要不可欠である。
- ③未実施事項  
人権確立要求南丹実行委員会の再結成に至らなかった。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	6,195	8,443	7,800	6,668	6,700
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	532	286	350	350
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	5,663	8,157	7,450	6,318	6,350
職員等従事人員	人/年	—	—	1.30		
人件費	千円	—	—	9,480		
事業費総額	千円	—	—	17,280		

## 【主な支出の内訳】

人権講演会関係 489,000円 (講師委託料、郵送料等)  
 街頭啓発関係、啓発ビデオ関係 1,181,000円 (消耗品、備品購入費等)  
 人権関係団体補助金 2,463,000円  
 京都府住新貸付管理組合負担金 3,670,000円

## 【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市、福知山市においても同様の事業を展開している。

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

南丹市内全地域で人権学習が取り組みやすくするため、研修助言者の増員を図った。

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
どのような事業展開をはかるか打合せを行う。
- ②当該事業のアピール事項  
人権関係団体等を通して事業の周知など行う。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
全地域での人権草の根運動を展開していく為、指導者、人材の育成、研修教材の充実を図っていく。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	411	事業名	人権啓発事業			
事業CD	103101-03000	細事業名				
所管部局	市民部	所管課	市民課	担当	桂木 誠	

103101-03000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
講演会	<p>・人権講演会 8月の人権強調月間にあわせて開催する予定であったが、講師の都合により、9月に開催した。 今回は、「～情報の正しい選び方～人権を侵害しないために」と題して読売新聞の辛坊治郎氏の講演を行った。 今、大切な物事の判断に必要な情報は数多くあるが、事実の向こうにある真実を見抜くために正しい情報を選び、人権を侵害しないために、情報社会の現状を確認した。</p>	9月20日(土) 午後1時30分	<p>参加者 268名 事業費 242,000円</p>
	<p>・人権講演会 人権週間にあわせて、市民一人ひとりが自らの問題として、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、「南丹市人権講演会」を開催し、みんなで考え学びあえる人権研修の機会とする。 今回は、「部落問題のこれから」と題して作家である角岡伸彦氏の講演を開催した。部落問題について再度認識を深め、ひとり一人の人権について考えてみる機会とした。</p>	12月7日(日) 午後1時30分	<p>参加者 154名 事業費 247,000円</p>
街頭啓発	<p>毎年8月を人権強調月間とし、あらゆる差別の撤廃、人権意識の普及・啓発、基本的な人権の擁護を広く訴えるため、本年も、8月6日(水)を統一日として街頭啓発を実施した。</p>	8月6日(水)	<p>・参加団体 南丹市(市三役)、市議会(正副議長)、市教育委員会(教育長)、人権擁護委員、市社協、民児協、商工会各支部、JA京都各支店、部落解放同盟各支部、婦人会、PTA連絡協議会 ・参加者 70名</p>
	<p>毎年12月4日から10日を人権週間とし、人権意識の普及・高揚を図るため、本年も、12月5日(金)南丹市内における人権啓発事業(街頭啓発)を実施した。</p>	12月5日(金)	<p>・参加団体 南丹市(市三役)、市議会(正副議長)、市教育委員会(教育長)、人権擁護委員、市社協、民児協、商工会各支部、JA京都各支店、部落解放同盟各支部、婦人会、PTA連絡協議会 ・参加者 70名</p>
啓発ビデオ購入	<p>人権教育・啓発を推進するため、効果的な学習教材や啓発資料として、地域別研修等で活用する啓発ビデオを購入する。</p>	11月	<p>購入数 3本 事業費154,500円</p>